

# 日本の トップランナー企業

## 3事業を柱に

# 100周年を機に変身

### 船場電気化材

#### 創業100周年

船場電気化材は1919年創業し、日東電工や当時の松下電工（現パナソニック）などの大手とともに歩んできた。再来年の2019年には創業100周年を迎える。

もともと電気関連市場の成長に着目した創業者が、関西で初めてという電気絶縁材料をあつかう商店として開業したのが始まりだ。

第2次世界大戦では社の建物が灰じんに帰すなどの逆境を経ながら、1994年には中国に足掛かりを築き、本格的に海外ビジネスへの参入も行い、現在まで98年間赤字を発生したことがないという安定成長を実現してきた。

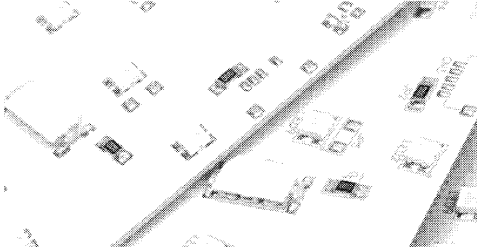
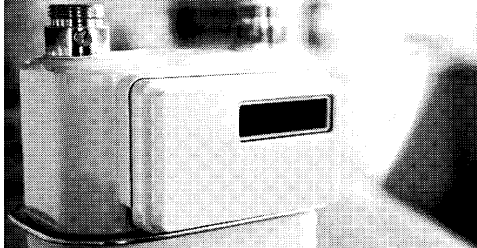
中でも本格的な高度成長時代を迎え、電子回路材の将来性をいち早く見て取り、名古屋にプリント基板加工工場を設立したことは、今日に至るまでの大きな成長の足掛かりと

な成長の足掛かりと

なっている。その後、1994年には中国に足掛かりを築き、本格的に海外ビジネスへの参入も行い、現在まで98年間赤字を発生したことがないという安定成長を実現してきた。

ト時から顧客とタイアップし、11年の東日本大震災後の電力不足や電気料金の高騰を背景に事業規模は拡大、その結果、高反射レジスト基板および積層板（ホームエネルギーマネジメントシステム）において国内トップクラスのシェアを獲得した。そして、16年7月の管理システムを指す。電気やガスなどの使用量をモニター画面などで「見える化」し、各機器をコントロールしてエネルギー

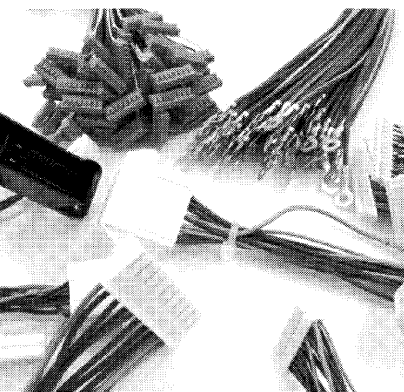
LED照明事業は2005年初期のスタートすでに同事業では年間



の自動制御ができる。船場電気化材が注目の自動制御ができる。船場電気化材が注目の自動制御ができる。

「HEMS」とは「Home Energy Management System」の略。家庭で使うエネルギーを節約するために、電気やガスなどの使用量をモニター画面などで「見える化」し、各機器をコントロールしてエネルギー

ガスのスマートメーターの事業化に当たっては、商社としての情報収集・分析力、マーケティング力を使い、同時にその主力部品をメーカーとして同社の名古屋工場に設備を投資し生産。サブライヤーに設備を貸与したり、海外でもサブライヤーの工場を使って生産している。まさに同社がユーザーとサブライヤーの間で立ち、事業をプロデュースする立場にいるわけだ。その結果、国内ではこの分野でトップクラスのシェアを取ることができている。



3本柱で、これまでバブル時代に記録した196億円の売り上げを超えて、22年には過去最高となる200億円超えを目指す。次の100年に向けて、滑り出しはこの上なく順調に見える。今、時代の流れ変化がはじまっている。勢いがままならない。急がなければならない。船場電気化材は、このHEMS事業を中心に電子回路材、粘着テープ材の速な事業の発展に

次の100年に向けて大胆な変身を目指す

船場電気化材では、海外展開も含めて中期的に年間100億円を売り上げること、16年6月期の年商が133億円の同社にとって、それは売上げ規模が倍増することになる。全



船場電気化材  
岸千春 会長

世界の先端産業を  
技術でサポート



船場電気化材株式会社  
〒564-0044 大阪府吹田市南金田2丁目14-32  
Tel. 06-6380-1008 Fax. 06-6380-8899  
http://www.senba.co.jp/